



2023年6月14日

各位

会社名 株式会社ノバック
代表者名 代表取締役社長 立花 充
(コード:5079、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長兼総務部長
大谷 敏博
(TEL. 079-288-3601)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社では、取締役会の実効性を高めて持続的成長と企業価値向上に寄与することを目的とし、各取締役・監査役によるアンケート形式の取締役会実効性評価を実施いたしました。
その評価結果の概要について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施概要

全ての取締役・監査役を対象とし、以下項目で構成されたアンケートを、2023年2月に実施いたしました。その分析・評価結果は2023年5月17日の取締役会で報告しております。

<評価の項目>

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 企業倫理とリスク・危機管理
- ④ 業績モニタリングと経営陣の評価
- ⑤ 株主等との対話

なお、アンケートの実施と結果分析・評価においては、ガバナンスの潮流をふまえた深度ある考察や、評価プロセスの客観性・透明性確保の観点から、外部機関のサポートを導入いたしました。

2. 評価結果

評価の結果、取締役会の実効性は総じて確保されているものと判断されました。

評価を通じて確認された、当社取締役会の主な強みは以下のとおりです。

- ① 社外取締役による役割・責務の発揮
- ② 取締役会の基本的な運営（開催頻度、審議時間等）
- ③ 執行側からの適切なレポート（業績指標、主要リスクに係る報告と情報提供）

その一方で、以下の諸点は課題として認識されました。

- ① 取締役会メンバーの多様性
- ② 重要議案に係る事前説明の充実化

- ③ 役員トレーニングの充実化
- ④ 大局的視点からの重要テーマ（人材・サステナビリティ等）に係る活発な議論
- ⑤ 株主等との対話の充実化

3. 抽出された課題への対応

本年度課題（上記2.参照）への対応として、当社取締役会は、以下のアクションプランを検討のうえ実践してまいります。

- ① スキル・マトリックスを活用した、取締役会メンバーの多様性に係る継続的な確認・検討
- ② 重要議案に係る議論の活性化に向けた、取締役会の運営上の工夫
（例：議題選定プロセス、議題計画、役員トレーニング、事前説明等）
- ③ 個人投資家を含む株主等との対話の実施と、その結果を取締役会へフィードバックするサイクルの構築

当社は、2023年6月14日開催の取締役会において、審議のうえ開示内容を決議いたしました。当社取締役会は、これらのアクションプランの着実な取り組みと、次年度以降も継続的に実施予定である取締役会実効性評価のPDCA機能を通じ、中長期的視野から実効性の更なる向上へ継続的に取り組んでまいります。

以 上